

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 28日

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

提出者

住 所 大分市城崎町1丁目3-28

氏 名 豊國建設株式会社

代表取締役 池邊 紘一郎

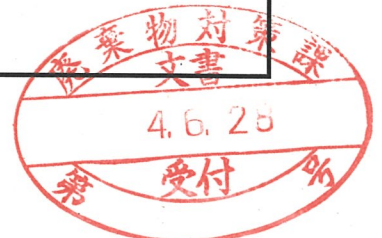
電話番号 097-536-1285

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	豊國建設株式会社
事業場の所在地	大分市城崎町1丁目3-28
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	資本金 96,000,000円
③従業員数	50人
④産業廃棄物の一連の処理工程	別紙① 添付



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙② 添付

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和）年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	別表-①			
	排出量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組) ・設計及び施工計画の段階において産業廃棄物の発生を考慮した工法資材等を採用している。 ・搬入材料の必要数量を事前に確認し適正している。 ・搬入材料の養生梱包材の再利用を各専門業者に指導している。				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別表-①			
	排出量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・設計及び施工計画の段階において産業廃棄物の発生を考慮した工法資材等を採用する。 ・搬入材料の必要数量を事前に確認し適正に使用する。 ・搬入材料の養生梱包材の再利用を各専門業者に求める。				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・産業廃棄物集積時に保管場所での分別細分化を実施し集積を行うようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後共、産業廃棄物集積時に保管場所での分別細分化を指導し集積を行うようにする。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（平成 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（平成 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類				
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項						
①現状	【前年度（平成 年度）実績】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	別表-①				
	全処理委託量	2,797.32	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2,797.32	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)						

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	別表-①				
	全処理委託量	2935.50	t	t	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	2935.5	t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・建設混合廃棄物の減量化					
※事務処理欄						

(第6面)

備考

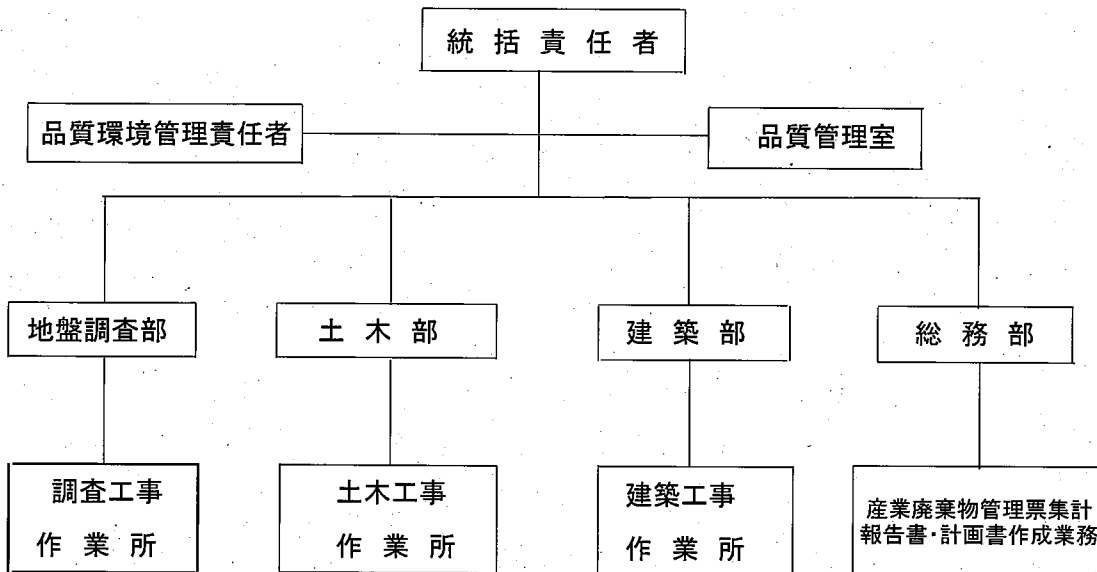
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理工程

- コンクリートがら（中間処理 委託） → 再生砕石砕石再資源化
- アスコンがら（中間処理 委託） → 再生砕石砕石再資源化
- ガラス・陶磁器くず（中間処理 委託） → 再生砕石砕石再資源化
- 廃プラスチック類（中間処理 委託） → 焼却・熱回収
- 金属くず（中間処理 委託） → 再利用
- 紙くず（中間処理 委託） → 再生紙の原料として再利用
焼却・熱回収
- 木くず（中間処理 委託） → 再生ボードの原料として再利用
焼却・熱回収
- 繊維くず（中間処理 委託） → 焼却・熱回収
- 廃石膏ボード類（中間処理 委託） → 管理型埋立
- 混合・管理型含む（中間処理 委託） → 選別・処分・埋立
- 石綿含有廃棄物（中間処理 委託） → 管理型埋立

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物処理責任者	現場代理人
管理技術者	

■ 現場代理人 業務

- ① マニフェスト交付・管理
- ② 廃棄物処理委託契約書締結

